

サロンでの気づき

サロンを訪問させて頂き、気づかせていただいたこと、お聞かせいただいたことなどをお伝えさせていただきます。何かお役に立てれば嬉しいです。

○山登り

15日、16日の休日に、いつも利用させて頂いている県民の森に一泊で山登りに行ってきました。いつものスタッフの方が全員で、いつもと同じように温かくもてなしてくださいます。



登山途中

毛無山
山頂間近

料金も手ごろ(安い)、人は温かい、料理はうまい、おすすめです。紅葉を楽しむには少し遅かったのですが、リフレッシュできました。

○900円のコーヒー

広島市南区宇品にある家具屋さん「ACTUS(アクタス)」内にあるカフェレストラン「SOHOLM CAFE (ソーホルムカフェ)」をご紹介します。

階段を上がりお店に入ると、店員さんが席へエスコートしてくれます。

店内はガラス一面で明るく、海がキラキラきれいです。



しばらくすると、自分達の所にワゴンでワインクーラーに入ったミネラルウォーターを瓶ごと持って来てくれて目の前で栓を開けグラスに注いで、栓をしてワインクーラーに。

オーダーはおすすめのドリンクとカレーライス、焼きサンドを頼みました。値段は軽食1,300円前後、ドリンク900円と驚きです。でも良い材料を使っている感じで、値段だけの価値はあります。

程なく、冉びワゴンに乗って、食べ物や飲物が運ばれてきました。グラスの水が無くなれば、すかさず注ぎに来てくれたりでサービス満点です。会話も弾み、あつという間に1時間位たっていました。すると、桑の葉茶と茶菓子が出てきました。このサービスにはしひれました。おつりもわざわざ封筒に



入れてくれるし、店員さん一人ひとりのサービスが徹底されています。

料金は、随所にあるコーヒーショップなどに比べたら高めですが、お水、料理や飲物の素材や食器にこだわりがあり、なによりも空間が楽しめます。店員さんのさりげない接客も感じがよく、のんびりとおしゃべりができました。価格は少々高めですが、お店の雰囲気や応対から考えれば、どうせ外でお茶をするなら、行きたくなります。

以前に受けたセミナーのことを思い出しました。「おいしい紅茶を飲ませるお店」と「紅茶をおいしく飲ませるお店」の違いです。このお店は、もちろん後者の方です。

○そこまでやるか

今月の谷口だよりは、上甲 晃氏が著された「松下幸之助の求めたるところを求める」の中からご紹介させていただきます。

「青年塾には、そのほかには、「そこそこやるか」ではなく「そこまでやるか」といった合言葉もあります。どんな簡単なことや平凡なことでもいい、「そこまでやるか」という徹底した姿勢で取り組めば必ず人の心を動かすことができます。…(中略)心の限りを尽くして準備した部屋は空気がピンと張って来る。いいかげんな気持ちで準備した部屋はいいかげんな空気が漂うから不思議です。」

「当たり前のことで差をつけ、平凡なことにしっかりと励む。それが地に足のついた生き方であり、底力ではないかと思います。私自身が心がけている一つの例を紹介してみたいと思います。私が普段、心がけていることは、人に名前を呼ばれたら「はい」と返事をすることです。

…(中略)不況対策の第一として、「当社は社長から社員に至るまで、みんなが『はい』と大きな声で返事ができる会社になろう」というのはいかがでしょうか。できるようになれば、みんなの気持ちが変わります。最高の不況対策です。一銭もいりません。ぜひ一度実践してみてください。」

以上、本の中から2ヶ所ほど抜粋させていただきました。
ぜひ、読んでみて下さい。

求める
松下幸之助の
ところを

上甲晃
著
株式会社
出版

致知出版2009年8月